

2015年
制定

造園工事総合示方書

General Specifications for Landscape Construction, 2015
Technical Principles

技術解説編

NEW



造園工事における技術的な基準や手法を示すとともに
計画から維持管理までの連携のありかたを示す

造園の及ぼす修景効果にとどまらず、防災、生物多様性の
再生・保全や都市部の温熱環境緩和などの技術的な
対応についても言及

ジャンルごとに経験と実績を兼ね備えた専門家が解説

造園に携わる全ての人に向けた実践的な書

公益社団法人 日本造園学会 編著

一般財団法人 経済調査会 発行

B5判 約230頁 定価4,860円(本体4,500円+税)

2015年
5月下旬
発行

この示方書の内容は極めて実践的でありつつも、今日的な社会的要請に対応できる内容を有しており、また執筆陣も造園工事に関わる様々な実務において、長い経験と実績を有する専門家によって構成されている。造園の計画・設計から施工、維持管理に至るプロセスのあらゆる局面において、この示方書の内容は最も基本的なレファレンスとして機能することができるであろう(中略)書棚の一隅を占める存在にとどまることなく、造園工事を発注する事業者、計画や設計に携わる設計者、あるいは工事計画を立案する施工者のオフィスの卓上に置かれること、工事が進む現場の管理事務所に常備されていること、更には、工事の現場において設計監理、施工管理に携わる多くの造園技術者が常に携帯しているものであってほしいと願っている。(「本書の内容と構成」より抜粋)



目次(予定)

I部 共通

- 1章 示方書の適用範囲/2章 字句の意味
- 3章 設計と施工/4章 施工と維持管理

II部 施工技術

- 1章 土工事/2章 植栽工事/3章 緑地育成
- 4章 施設工事

III部 統合技術

- 1章 修景効果の向上/2章 防災機能の向上
- 3章 生物多様性の保全/4章 温熱環境の緩和
- 5章 安全・安心/6章 循環型社会の形成
- 7章 ユニバーサルデザインと癒しの空間
- 8章 協働による造園空間づくりへの対応

IV部 資料

- 1章 造園施設における材料の特性
- 2章 材料別の性質と劣化傾向/3章 塗装と塗料

I部 共通

造園工事の範囲や工種にとどまらず、「設計と施工の連携」や「施工と維持管理の連携」について、従来の枠を越え記述

II部 施工技術

造園工事に固有の工種や施工方法等に絞って深く記述。関連する建設工事技術との差異を明確にしつつ、それらとの実効的な連携のありかたにも言及。また造園工事においてももっとも重視される植物的な自然とそれを支える環境を持続可能な状態に育成していくための「管理技術(緑化育成)」についても記載

III部 統合技術

修景効果に加えて、防災機能の向上、生物多様性の保全再生、都市部における温熱環境の緩和、ユニバーサルデザインへの対応等、今日的な課題に対する技術的な対応について記述

IV部 資料

造園工事に関連し、公園施設等で使用される材料と塗装の性質について収録

内容見本

造園工事総合示方書 技術解説編 Ⅱ部 施工技術

4章 施設工事

4.1 土系舗装工

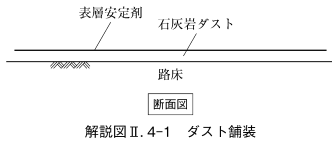
造園工事における土系舗装工は施工場所が複雑な地形の場合が多いため、施工前に排水計画を立てなければならない。排水勾配は2%程度を基準とするが、やむを得ずこれによらない場合でも、広場の端にわずかに水が溜まる程度に計画する。

この節では、土系舗装工として以下を対象とする。

- (1) ダスト舗装
- (2) 芝舗装
- (3) 耐踏圧性芝生舗装

【解説】

(1) 浸透排水が期待できるために排水勾配を余り考えないで施工する例が多いが、間違いである。ダスト舗装も完成後は踏圧と降雨により固結化するため、浸透排水が期待できないからである。集水溝が少なく所定の排水勾配が確保できない場合でも、わずかに園路あるいは広場の端に水が溜まるよう、舗装面の中央部を端部より少し高くして「張り」を感じさせるように施工することが望ましい(解説図Ⅱ.4-1)。



(2) 砕石路盤により排水は問題がないと思いがちであるが、排水に対する考え方は(1)のダスト舗装と同じである。また、芝の生育のためには、基盤は固結しにくい土壌を使用しなければならない。修景的な見地から、円形の芝生広場の場合は通常の直線張りより円形張が望ましい(解説図Ⅱ.4-2)。

(3) 駐車場を芝生化する場合に採用される工法で、砕石路盤の上にプラスチック製の枠を布設し、更に芝生用の土を入れて芝生を張って完成となる(解説図Ⅱ.4-3)。車の踏圧はプラスチック枠が受けることから、芝生用の土を余り考えないで現状土を使用する場合が多い。

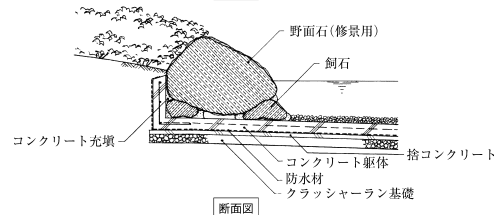
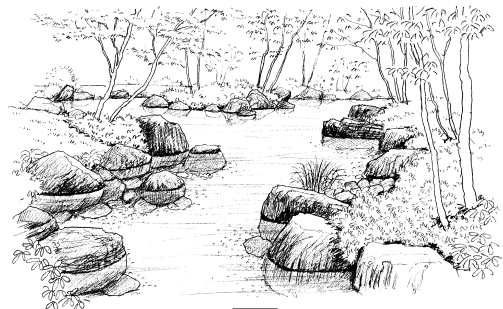
造園工事総合示方書 技術解説編 Ⅱ部 施工技術

ねることである(解説写真Ⅱ.2-3参照)。

まず下枝の小枝から数枝ずつひもで束ね、順番に中枝、そして大枝を幹と結わく。このとき、枝が折れないように力を加減して数回に分けて束ねる。特に折れやすいカエデ類や仕立物のマツは、注意しながら行うとよい。



4章 施設工事



解説図Ⅱ.4-27 護岸石組²⁴⁾

HPでのご注文は **「BookけんせつPlaza」** 送料 無料 <http://book-kensetsu-plaza.com/>

FAXでのご注文は **03-3543-1904** 単品購入は送料450円 一般財団法人 経済調査会 業務部 行き

お支払いにつきまして ●お申込み承り後、請求書(官公庁:見積書・納品書を含む)と支払方法で選択された振込のご案内を送付し、商品を提供いたします。
●代引きおよびHP上のカード決済の取り扱いはありませんので、ご了承ください。

申 込 書			
2015年制定 造園工事総合示方書 技術解説編	2015年5月下旬発行	定価4,860円(税込) (本体4,500円+税)	申込数 冊

フリガナ 官公庁・ 会社名			
フリガナ 部署名	フリガナ 担当者名		
住 所	〒 [] [] [] [] - [] [] [] []	都道 府県	郡・区 市
電話番号	支払方法 【選択】		1. 郵便振替(振替手数料無料) ※コンビニ支払可 2. 銀行振込(振込手数料はご負担願います)
Eメール アドレス			
備 考	個人宛に案内等送付希望の方は○で囲んでください。 (希望する)		

*ご記入いただいた個人情報は、ご希望がある場合を除き、本件のお申し込み以外には使用いたしません。今後、当会発行の雑誌・書籍・電子媒体および講習会等の案内を希望される場合は、備考の該当欄を○で囲んでください。なお、送本等の一部業務は、守秘義務を含む業務契約を締結した協力会社に委託することがあります。

● お申し込み・お問い合わせは ●

